

はがの文芸

サークルなどで活躍されている皆さんの作品をご紹介します。

短歌

話より土産のメロン類張りて
白寿に近き母の笑顔は

柳 治男（与 能）

交番の灯に安らぎて乗り換えの
バスを待ちおり長き時間を

山口 タカ（祖母井）

掘り上げし馬鈴薯白く茹で上げて
味を楽しむ梅雨の晴れ間を

藤沢 久夫（稲毛田）

七夕は陰暦がよし織姫は
梅雨の夜空のとばりに隠る

荷見 泰一（芳志戸）

俳句

食欲のなさを暑さのせいにして

板橋 晴子（西水沼）

尻を振る親のまねして鴉の子

稲川 清子（与 能）

真夜の雷おどろかしたる老夫婦

大畑ハマ子（下延生）

炎天や壊れしままの長屋門

大村かし子（下高根沢）

川柳

消費税日頃の愚痴を加算され

磯 エツ子（稲毛田）

顔役のコネを頼った願いごと

長谷川 政（ハツ木）

同じものなどあるはずの無い家族

山本美枝子（稲毛田）

人類の我儘天地諭してる

小林 正孝（祖母井）

あなたの声を聞かせてね！

お便り待っています！

●身近な出来事や町に関する要望・意見

小林操さんからの投稿

芳賀チャネルで「町制施行60周年記念番組」あの時この時」を見ました。ふるさとのことを思う先人の知恵、知識、努力、苦勞で築かれた当時の町の姿が印象に残っています。発展した現在の町の状況につながっているのでしょうか。

▼ありがとうございます。これからも広報と芳賀チャネルでは、さまざまな出来事や町の様子をお伝えしていきます。

高松イクさんからの投稿

町のウエルネス運動教室の第1期生として、昨年の10月から参加しています。7月に体力想定の結果が出ました。1回目と比べると体脂肪率が下がり筋肉率がアップ、体年齢が若くなるなどうれしい効果が出ました。次の体力測定は来年1月に行うとのこと。目標に向かって自分の健康づくりを継続していきます。

▼頑張ってください。なお、体力や健康に不安のある方は、健康福祉課健康係へ相談してください。

「広報はが」や「芳賀チャネル」に対するご感想のほか、町に関するご意見・ご要望などを、手紙・はがき・メール・FAXなどでお寄せください。※連絡先は裏表紙をご覧ください

はがまる探検隊

第14話

町制施行60周年記念

「福田たねと青木繁のロマンスの謎を探そう」「生い立ち」編

たねは、明治18年（1885年）1月に福田豊吉・チヨの長女として東高橋村（現在の大字東高橋栄町）に生まれました。本籍地は父・豊吉の実家がある日光市にあります。たねを語る際は、豊吉の存在を抜きにしては語れません。

豊吉は日光で生まれ育ち、幼い頃から勉学に励み教員免許を取得、小学校で熱心に教鞭を執っていました。また「三余学会」を主宰し、地域の青年女子に教育の大切さを説いていました。その豊吉は、娘たねが絵を習いたいと言ってきたとき「これからの世の中は女の子であってもしっかり勉強し知識・教養を身につけなければならぬ」と強く思い、たねの思いを全面的に支援したといわれています。

たねは明治34年（1901年）16歳で親元を離れて日光の五百城文哉の画塾に入門し、そこには10数名の内弟子がいましたが、女子はたね1人であったそうです。

この頃の福田家の生活は、決して裕福ではなかったようです。豊吉は教師を辞めた後、呉服商を営み肥料の開発など手掛けましたが成功とは言え



▲三余師徳の碑



▲当時の豊吉の住まい

ず、当時の住まいもこの地方の農家に比べると小規模・貧弱であったとされています。しかし、豊吉こそたねの最大の支援者であり、豊吉の支援なくして後の福田たねはなく、ひいては青木繁との出会いもなく、「海の幸」「わだつみのいるこのみや」など名作も生まれなかったことでしょう。

次回は、福田たねと青木繁の出会いから別れをお伝えします。

※「三余」とは、勉強に励むべき余暇（冬・夜・雨の日）のこと。

新着図書

一般書

- ◎敗者たちの季節 あさの あつこ
- ◎春遠からじ 北原 亜以子
- ◎春の庭 柴崎 友香
- ◎非写真 高橋 克彦
- ◎悟浄出立 万城目 学

児童書

- ◎かえってきたへんしんトンネル あきやま ただし
- ◎みずくみに 飯野 和好
- ◎しょうてんがいはふしぎどおり 内田 麟太郎
- ◎ほくのマルコは大リーガー 小林 しげる
- ◎ニンジャとさるとびすすけ みやにし たつや

TRC週刊全点案内より転載

その他多数入荷していますので、ぜひご利用ください。

9月の休館日
1・8・16・22・29日
☎総合情報館 ☎028(677)2525

芳賀町総合情報館 知恵の環館だより

今月の1冊



水底の棘
著：川瀬 七緒
（講談社）

損傷の激しい水死体を見つけた法医学者の赤堀京子。解剖医と鑑識は絞殺後に川へ捨てられたものと推定するが、赤堀は別の見解を打ち出す。捜査本部は被害者の所持品から、赤堀はワジと微生物から、それぞれの捜査を開始する。

※TRC週刊全点案内より転載



ぷるたくん
著：鎌田 歩
（小学館）

火事の連絡を受けて初めて出勤した、新型のレスキューヘリコプターのぷるたくん。ドクターヘリと大型ヘリコプターは煙の中へ迷わず飛びこんでいくのに、何もできないぷるたくんでしたが

図書館利用のコツ！

特集コーナー

図書館内に、季節や旬のテーマに関する本などを紹介する「特集コーナー」を設けています。月替わりで職員が本を選び、それぞれ大人向け・子ども向けの2つの特集展示を行っています。

図書館では、皆さんに本に親しんでいただくように、これからも色々な特集展示を行っていますので、ぜひ足を運んでみてください。